



# OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日  
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階  
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010  
WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp  
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111  
会長 岡本 茂 幹事 藤井 宏明 会報広報委員長 吉本 カ

四つのテスト/言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

## 第1419回 例会 2021年(令和3年)3月22日

(水と衛生月間)

<b>本日のプログラム</b> ○ <b>ロータリーソング</b> 「四つのテスト」 ○ <b>会長の時間</b> ○ <b>幹事報告</b> ○ <b>委員会報告</b> ○ <b>ニコニコ箱報告</b> ○ <b>出席報告</b> ○ <b>卓話</b> 「私の人生履歴とその背景 PartⅢ」 西村 文延 会員	(本日のプログレス 小島 常男 副SAA)
---	-----------------------

### 前回(3月15日)例会記録

◇**プログレス** 小島 常男 副SAA

#### 1. **来客紹介** 洪 理恵 親睦委員

ゲスト:1名 地区外:0名 地区内:0名 合計:1名

ゲスト:元米山奨学生 フレディアント君

#### 2. **会長の時間** 「親睦から親睦と奉仕へ」(ドナルド・カーター事件) 岡本 茂 会長



今日の会長の時間は、ロータリーの「奉仕の起源」について、です。

1905年2月23日、アメリカ・シカゴ。ポールハリスほか4人はこれまでにない社交クラブ「異業種の親睦を深める会」をつくることを計画します。それからは、定例の会合、一業種一人、ロータリーというクラブ名、会長、エンブレム、例会時の歌唱など決まり事を順次決めていきます。当初ロータリーには、奉仕の概念はなく、限定会員制度の社交クラブとしての目的は、「会員相互の親睦を深める」です。20世紀初頭のシカゴの殺伐とした都会で安らぎを求め、友情を育むために「一業種一人」と「定例の会合」から、やがて会員の事業にお互いが利便を図り合う「相互扶助」の考え方が発生します。親類付き合いのような関係、物の調達は、ロータリアンはロータリアンに、ただし原価で、もうけは考えない。困ったときは皆で知恵を出し合う。最初の定款には「親睦の充実」と「職業上の利益の向上」が謳われていました。

会員の事業の利益の向上を図るために、会員同士の相互扶助が活性化され、やがて積極的な「互恵取引」(物質的互恵)に発展します。お互いの会員が自分一人では掻くことのできない背中を掻き合う「back scratching」の世界。「お互いに仕事を頼み合い、果てしなく関係の続く自己中心的な相互扶助のグループ」を作り上げました。会員相互で商品や原材料を原価で

取引して、それを一般の人に売って大きな利潤を上げるというビジネスモデルです。

そんな中、一人の会員が、ドナルド・カーターに「物質的利益」の特典を説明してロータリーへの入会を勧めたときのことです。「職業をもって社会で生活している以上、職業を通じて社会に貢献することこそが自分が存在する証になるのであって、自分たちだけの利益にこだわって社会に何もしない団体に将来性も魅力もない」と言って、カーターは入会を断ります。簡単に入会できないことが大きな魅力であり、それまでは入会を勧められれば二つ返事で受諾することが当然。カーターの、この入会拒否事件は、シカゴクラブには大きなショックでした。

しかし、「物質的互恵」と「親睦」のみに終始することに限界を感じ、次の段階へのステップアップを考えていたポールは、この事件を絶好のチャンスととらえて定款を改正します。シカゴクラブの定款に、「対社会的な行動に関する項目」が加えられ、始めてロータリーに「奉仕」という概念が芽生えました。ただし、相互扶助はその後も継続され、「物質的互恵」から、次第に「精神的互恵」に転換されていきます。会社経営や労務問題など経営上の悩みを持ち寄り、お互いに相談し合う異業種間の情報、アイデアの交換、ノウハウの伝授などです。例会での卓話やいろいろな会合で披露される「実践談」は、大いに価値あるものと受け止められました。

さらに、従業員対策や適正利潤を得るための方策は、「職業倫理」を高める運動に発展して、やがて、ロータリアンの指針＝「四つのテスト」を生み出しました。

### 3. ご挨拶 元米山奨学生 フレディアント 君



元米山奨学生のフレディアント君にお越しいただき、4月からダイハツ工業株式会社に入社する今後の意気込みと、この2年間の感謝の気持ちをご挨拶していただきました。

### 4. ニコニコ報告 甚田 隆康 親睦委員

竹内 会員・・・インシエーションスピーチよろしくお願ひ致します。

中井 会員・・・本日はインシエーションスピーチです。何卒よろしくお願ひいたします。

天野 会員・・・本日のインシエーションスピーチよろしくお願ひします!!

坂本 会員・・・本日のインシエーションスピーチよろしくお願ひ致します。

塩尻 会員・・・皆様よろしくお願ひ致します。

岡本(真) 会員・・・本日フレディアント君が皆さまに最後のご挨拶に例会出席致しますので宜しくお願ひ致します。

清水、宮原、片岡、中西、岡本(茂)、山川、小島、小山、原山、伊藤、俣野、松谷、吉本、大磯、沖、岡野、岩崎、甚田、新川、栗原、井澤、澤田、洪、吉本、松永、中村、北野、

各会員・・・竹内会員 中井会員 天野会員 坂本会員 大阪船場 RC を楽しんでください

### 5. 出席報告 小島 常男 副SAA

会員総数 40名 出席率計算会員数 39名 出席会員数 36名 出席率 92%

第1416回(11月30日) 修正出席率 98%

### 6. インシエーションスピーチ

◎ 竹内 弘 会員



株式会社テイクコーポレーション 竹内弘と申します。

昭和51年生まれの45歳、奈良の榛原というところで育ちました。

よく出身は奈良です。というと、修学旅行で行ったことあるよとか、大仏さんのねと言われますが、わたしの育った榛原という町は大仏がある奈良市内まで、電車でも車でも一時間以上かかる、三重県との県境の山に囲まれた街です。子供の頃から、サッカーを始め、毎日、日が暮れてもボールを蹴っていた、わかりやすいサッカー少年です。サッカーはほぼ途切れることなく、今もover40のチームで週末にはボールを追っかけています。

高校は1時間以上かかる奈良市内にある奈良育英高校、大学は大阪に出て桃山学院大学に入りました。

いずれもサッカーがしたくて選んだ学校です。学生時代、当時のキムタク人気と、ちょっと調子に乗っていたわたしの髪型はロン毛にパーマ。周りが真剣に就職活動をする中、世の中をなめていた私はロン毛のまま面接にいきました、が、なぜか婦人アパレルの上場企業に内定をいただくことができました。

しかし、さらに世の中をなめていたわたしは、このまま普通にサラリーマンになるのは面白くないと、せっかくだいたいだ内定を断ってしまいます。今、経営者になって振り返ると、自分から面接を受けに行き、受かって断るとはなんて失礼な奴だと、いつも自責の念に駆られます。

結局卒業後、就職を蹴った私は、思いつきで、オーストラリアに渡ることを決めます。バックパックに寝袋一つで、出国前に、アルバイトで貯めたわずかなお金を握りしめ、トマト畑やチリ畑、ぶどう畑の農場で一日中ピッキング(収穫)の仕事をして日銭を稼ぎ、お金が貯まると、深夜バスのチケットを買って次の街へと移動、結局、一年でオーストラリアの東半分をほぼラウンドしました。日本を出る時、もちろんバックパックにはサッカーシューズを入れていきましたので、いく土地土地でチームに入れてもらい、サッカーをしました。コミュニケーションツールとして、サッカーをしていたことにありがたみを感じる一方、大した勉強もしてこなかった当時の私の英会話力は、My name is〜とI like Beer.程度。

辞書片手に、サッカーのチームメイトや、農場で働く仲間が、私の英語の先生でした。彼らに教わったからか、あまりきれいではありませんが、形容詞の前には必ずFの頭文字がつくような俗語が、私のはじめに覚えた英会話です。

良くも悪くもわたしの性格は、思い立ったら、あまり後先考えずに行動してしまいます。

たいがい誰とでも仲良くなれますし、このオーストラリアでの一年も、いろんな人に会い、あとあとと思うと人生観を変える本当にいい機会になったなと思っています。

一年間のオーストラリアで、コアラやカンガルーとも友達になった私は、日本に帰り改めて就職活動をやりなおしました。ちなみに暑い南の国にいましたので、この時の髪型は丸坊主です。

1社目は金融商品のゴリゴリ営業会社、その後、インクジェットプリンターを扱う、機械販売の会社に転職します。ここでのインクジェットプリンターとの出会いが、私の現在につながるきっかけとなります。

もともと、漠然と20代で独立したいという夢があったのと、モノを作る仕事がしたいと思っていたところに、インクジェットプリンターという、今後の世の中に、必要不可欠になるだろうと思えるモノに出会い、29歳の時、会社を辞め独立しました。なけなしの貯金で購入した1m幅のインクジェットプリンターを自宅ベッドの横に置き、妻にも協力してもらい、中古のMAC1台で、事業をスタートしました。もちろん、お客様なんておりませんでしたので、昼間はほぼ毎日飛び込み営業、帰って預かったデータをプリントし、リビングに大きなマットを広げてカット、そしてポスターにして納品、ということを繰り返しました。お金はありませんでした。ただ、少しづつですが、仕事も増え、創業の1年半後、堺筋沿いのビルに小さなオフィスを借りました。とにかく、お客様にはノーと言わない、呼ばれたら飛んでいく！を繰り返すうちに、一緒に働く仲間も増え、仕事の幅も広がり、現在は、店舗や商業施設、ホテル等の内外装、看板、ディスプレイの仕事を受けています。

東京にも事務所を出し、従業員は約50名、法人としては14期目です。このコロナ禍で、例に漏れず当社も大打撃を受けましたが、持ち前のなんとかしてやる精神と、インクジェットで笑顔を作る！を合言葉に社員全員で笑顔作りに励んでおります。

ところで、昨年入会当初、船場ロータリーに入って、何をしてみたいですかと問われました。

正直すぐに何をと答えられませんでした。私自身でも、先輩方と同じように、約8年前に、カンボジア、スパイリエンの小学校に3教室の校舎を寄贈しました。きっかけは、やっぱりバックパックひとつで訪れたカンボジアで、真っ昼間から5,6歳の子供達たちが、幾度となく、私に物乞いをしてくる姿を目の当たりにしたからです。その時の子供達の顔はほとんど悲しそうに見えました。でもその表情に何か腑に落ちない違和感を感じました。私には、その子供達の表情は、本当の悲しい顔ではなく、物乞いをするために作られた、大人から教えられた悲しい顔に見えたのです。なぜなら、その子供達の瞳はあまりにも綺麗だったからです。

日本に帰ってからも、カンボジアの歴史を勉強し、こんな大人の理由で子供達に物乞いをさせなければいけない現実を、何かかえる手助けができないか、いつも心の片隅に持っていました。そしてその後、賛同してくれた社員がいたこともあり、校舎建設に踏み切ることができました。各教室には、日本とカンボジアがつながることを願ったデザインをして、得意のインクジェットシートを貼りました。

大阪船場ロータリーでもこれまでの経験も生かしつつ、何よりも、一人ではできないことをみなさんとともに見出し、人にとっても自分にとっても、価値のあるものを探していけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## ◎ 中井 崇 会員



私は人事労務を主に扱う弁護士です。最初の仕事は公務員の懲戒処分関連の事件で、私は処分者側の代理人として会場に向かいました。さあ、弁護士としての輝かしい第一歩、とばかりに扉を開けたところ、傍聴席に陣取っていた組合の方々が一斉にこちらを見て「おう、お前誰や。自己紹介せい。」。その後も、私が発言する度にヤジがとび、「異議あり」をやってみたところ、机を叩く、椅子を蹴る、罵声を浴びせるといった有様で、大変ショックを受けました。私は三人兄弟の末っ子(姉二人)として生まれました。この兄弟構成だと大変可愛がられそうですが、子供の頃からあまり可愛いと言われた記憶がありません。それは私の性格に可愛げが無いことが原因だと最近気付きました。小学生の頃、国語の課題で「登場人物はどういう気持ちだったでしょうか」という出題に対し、「その人の気持ちは本人でないとわからない」と書いて

呼び出されたことが思い出されます。

家庭は、妻と子供3名の5人家族です。妻は私と結婚する際、私の祖母から「あの子は難しい子やから苦勞すると思うけど、堪忍な」と言われたそうですが、妻としてはこれまで特に難しいと感じたことはないとのことで、幸い一つがなくやっております。妻の言動を見ておると、歯医者で親知らずを抜いた後、「あそこの先生上手いわ〜。抜かれたことに気付かなかった」。いくら麻酔が効いているといってもそんな馬鹿なと思うのですが、そういう神経の持ち主だからこそ、私とやってこられたのかもしれない。

紹介者の山川さんとは、大阪弁護士会野球部で一緒しておりました。監督としての山川さんは、豊富な知識は勿論、必ず自分が責任をもって決断するという姿勢を貫かれていました。そして、何より底抜けに優しい。だからこそ選手はついていきましたし、私も山川さんの背中を追い続けた結果、大阪船場ロータリーに足を踏み入れることになったものです。ロータリーでやりたいことですが、私が弁護士になる際、大叔父から「どんな賢い人でも先生と5年呼ばれたらバカになる」との忠告を受けました。私はもともと賢くもない上に先生と15年以上呼ばれていますので、間違いなく大馬鹿野郎になっているはずですが。ロータリーでは、まずこのバカを直したい。自分が先生と呼ばれない環境で、一人の人間として通用する見識を身につけたいというのが第一です。何とぞよろしく願いいたします。

## ◎ 天野 大樹 会員



ただいまご紹介に預かりました株式会社シンワ・コーポレーション天野大樹と申します。この不安定な社会情勢の中、クラブ運営、また、例会の開催にご尽力をいただいております、理事、役員の方々に心より御礼申し上げます。

では、僭越ながらお時間をいただきまして、まずは私の現在までの軌跡と事業内容、そして、最近の自分自身の変化について お話しさせていただきます。

私は、兵庫県姫路市の夢前町という小さな田舎町で生まれ育ちました。高校を卒業して大阪の美容学校へ進みましたが、実家からの仕送りもなく、アルバイトに明け暮れる毎日でした。

その頃私はある年上の男性と出会います。

何かと目を向けてくれるこの方が、父のように思えて、一人、大阪で暮らし始めた私にとっては、大切な、尊敬する存在でした。専門学校を卒業後、就職に悩んでいた私に、その方はこんなアドバイスをくれました。

『美容師を目指すのではなく、事業を成功させ美容室を経営する道を選びなさい』雇われるのではなく、起業する。

その言葉に後押しされ、美容とは全く関係のない仕事につきながら、その言葉通りになる自分を目指し、目の前にある仕事をただ一生懸命こなす毎日を過ごしました。けれども、28歳の頃、ある日突然、本当に突然でしたが、この尊敬する人を失いました。ショックのあまりこれからの自分の生き方を見失い、先を模索する辛い日々が続きました。

長い年月が経ち、やっと周囲に目を向け始めたその時、私の周りにならなくてくださったのは、その方と共におられた先輩方でした。そして、その先輩方の中には賃貸マンションや貸しビルを複数所有され、いわゆる賃貸業を営んでいる方が多くいらっしゃいました。そんな方々の影響もあり、宅建士の資格を取得し、2011年6月、株式会社シンワ・コーポレーションを設立、業界未経験の29歳、全くの素人が不動産業を開業いたしました。まずは、不動産業の基本でもある賃貸の仲介業から始めました。

しかしながら、物件情報の集め方、お客様の案内手順、契約書の作成方法など、すべてが初めての経験で、失敗の連続でした。心が折れそうになることも何度もありましたが、様々な方面からの支えもあり10年かけてやっと今の事業展開、三本柱が形になりはじめた所です。ではここから少し、事業内容を紹介いたします。

三本柱の一本目は「イェットタワー」というサイト名で稼働させております、大阪市内のタワーマンションに特化した賃貸仲介事業です。

二本目が阪神間における中古住宅再生事業です。これは主に、仲介業者様を通じて購入させていただいた中古物件を今の時代に合った物件へと蘇らせ、再販する事業です。

そして三本目は、『気品ある暮らしを提供する』をテーマに、プルメリアシーズというブランド名で新築戸建ての分譲事業を行っております。ターゲットエリアは主に豊中、吹田、池田、箕面など北摂エリアに絞り込んでおります。

この北摂エリアについては、不動産業界において、今、益々期待値も高まっており、先日の俣野様の卓話で、北大阪急行電鉄の延伸、新駅開設の詳細などを拝聴し、今後、目を離せない注目されるエリアであること、大いに勉強になりました。

この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

こうして10年という長い歳月をかけてようやく地に足をつけた社員4名の小さな不動産会社ではございますが、これからの不動産業界にしっかり根を下ろし「不動産の価値創造にワンストップで応える企業」を目指して参ります。

次に、私にとっての特別な体験についてお話しさせていただきます。それは「滝行」です。

一年で寒さが一番厳しい時期、2月の節分明けに、泉佐野にある犬鳴山七宝龍寺にて毎年敢行しています。

実際に滝に打たれるという経験は、辛さの限界や、耐えることの限界など、今まで味わったことのない究極の体験です。

滝行での着衣は白装束1枚のみ、落ちてくる水を止めることはできません。ただただ行者の唱える真言が終わるまで、ひたすら耐え続けるだけなのです。凍てついた石の上を裸足で歩くと、「靴下を履く」という当たり前のことが、なんと尊いことなのだろうとしみじみ感じました。そして、行が終わって山を降りるときに履く靴下の暖かさに、涙がこぼれました。

何気なく過ごしている「日常」がどれだけ豊かであるか。自分の意志で選べる「未来」がどれだけ幸せなことか。限界とはあるものではなく自分が決めているに過ぎない、信念と覚悟があれば何事にも挑戦できる、滝行でそう気づくことが出来ました。滝行という特別な経験で、私自身、大きく変化したように思います。

そして、ロータリークラブへの入会も私にとっては大きな出来事となりました。大阪船場ロータリークラブへは、昨年11月に原山様からお誘いをいただきました。原山様には日頃より何かとご厚誼を賜っております。原山様の気遣い心遣いの一つ一つに敬服し、今までの私に足りていなかったことや、見習うべき姿に気づかされ、多くの学びをいただいております。

そしてまた、こうして皆様と出会い、これから様々に教えを頂きながら、さらに自分を高めていきたいと強く思っております。

まだまだ未熟で若輩者の私ですが、大阪船場、ロータリークラブの一員として、日々精進する所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上をもちまして、私の挨拶とさせていただきます。

## ◎ 坂本 田鶴子 会員



坂本田鶴子です。仕事はコーチ・カウンセラー・組織心理士をしております。

今日は私の簡単な経歴と、この仕事をするに至った経緯をお話しさせていただきます。

皆様方にとっては、あまり聴きなれない話が多いと思いますがお付き合いいただけますと嬉しいです。

実は、私は、最近復活した人間です。5年前までは感情の蓋をガッツリと閉じており、まるでロボットのように生きていました。腹が立つとか、楽しいと感じられず、ころはボロボロ。生きているというよりも、息をしているというそんな状態でした。

この5年間光も見えない中歩いてきたら、まるで天が味方をしてくれるように仕事も人生も、いい方向に回り出しました。私自身の性格、取り巻く環境、出逢う人達がどんどん変わってきました。180度変わった、と言ってもいいすぎではないくらいです。

そして今、この素晴らしい皆様との出逢いをいただけています。正直、信じられない気持ちでいっぱいです。

私は東京の下町で小さな町工場を営む父のもと、4人姉妹の長女として生まれました。

父は幼いころ祖父をなくし、小学校しか出ることができずに働きに出て9人兄弟を養った人です。「学」がなくて非常に苦勞したという話を聞いています。そのため同じ思いをさせまいと、私達こどもには、「とにかく勉強をしろ」もつとと言うと、「勉強さえしておけばいい」としつけられました。長女の私はその影響をもちにうけ、15歳の高校受験のときに勉強のし過ぎで感情を壊しました。受験合格して数日たったある日、畳に座っていたら、身体の中から一気にエネルギーがなくなっていくそんな体験をしました。無気力症候群になりました。何もする気がなくなっていました。15歳という青春真っ盛りの時期に、人を好きになることができなくなりました。「教育虐待」という言葉に出会ったのは最近です。私の体験は、それに当てはまります。ただ、感情がなくなっても普通に生活できます。はた目にはわからなかったようです。「勝ちぐみ」とも言われていました。一見したら、順調に見える人生を歩んできました。結局何をしてきたかという、人生の前半は父の期待に応えるため、人生の後半は元夫の期待に応えるために生きること。「自分の人生に自分不在」という人生を何十年もやってきてしまいました。そして壊れました。壊れるまで気づけませんでした。エネルギーが出ないんです。無気力でした。指示待ち人間でした。人間には、その年齢年齢で体験すべきことがあると思うのですがそんなことをすつとばしてきてしまいました。

この5年間仕事をする人と並行してつくられた自分を手放し、本来の自分を取り戻すことをしてきました。

そして、今感じるのは、一見したら「負」にしかみえないこれまでの体験が全てリソースになっているということそれがあってこそ、今の仕事が出来ている、ということです。

私がさせていただいているのは経営者の方、社員さんそれぞれが本来の力とりもどし、自然体で力を発揮できるそんな職場づくりです。人は自然体であるときに、一番力を発揮します。それは、グーグルが調査した、アリストテレスプロジェクトでも証明済みです。その「自然体」という状態を創っていきます。今、世の中には、本来の力を失っている人が、実は多いです。育ってきた環境が原因で生きづらさを抱えている人が世の中にあふれています。

成功されている方でも、色々なものを抱えている方が多い。しかし、ただでさえ影響力のあるそんな方が本来の力を取り戻されたらその影響力はとんでもないことになります。

「ひとりの社員さんが、毎日通う会社で自然体で働ける」、という幸せは、その方のご家族へ波及します。そのご家族の幸せは、そのご家族と関わりのある方々に波及していきます。社会に幸せの連鎖が起きてきます。私は、その連鎖を創っていきたいです。経営者の方、会社が社会に与える影響は絶大です。ひとりひとりが自然体であること。

そんな会社が増えることが、日本社会の未来の幸せには一番の近道ないか、と私は思っています。

私は、ご縁のある方に貢献をしていきたいです。正直、お話にならないような生き方をしてきてしまいましたが、「それならば、この人生を生かすこと」、これが今の私にできることだと思っています。

今までの人生経験を生かして、世の中のお役に立っていききたいです。そんな仕事を一つ一つ積み重ねていきます。どうぞよろしく願いいたします。

#### ★4月例会予定★

日		司会	プログラム	歌	その他
5	母子の健康月間  2021-2022年度の ための地区協議会 (4月中旬頃動画配信)	北野	次年度会長方針: 宮原会長エレクト	「君が代」 「四つのテスト」	お誕生日お祝い 理事会31階「カトリア」13:40～14:40 お食事:洋食
12		北野	クラブフォーラム: 社会奉仕委員会	「船場ソング」	フォーラム ～14:00延長 お食事:軽食
19		北野	委員会卓話: クラブ戦略計画委員会	「今日も楽しい」	お食事:洋食
26		北野	卓話:吉本会員	「日も風も星も」	お食事:和食